

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
名瀬中心市街地地区

平成24年7月

鹿児島県奄美市

※記入にあたっての留意事項(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

本様式は参考様式です。

事後評価様式の記入にあたって、下記の点に留意してください。

1. モニタリング(一部の結果)・事後評価・フォローアップの3段階を、様式にご記入いただきます。それぞれの内容・記載要領は、以下のとおりです。
また、記入項目の詳細や記入例については「事後評価シート作成の手引き」を参照してください。

段 階	内 容	時 期	記入欄の 色分け
《第一段階》モニタリング	事業期間中に、実施状況、数値目標の達成状況、効果発現の状況を確認する	交付期間中の 任意の時期	
《第二段階》事後評価	評価項目の計測（見込みの値でも可）、効果発現に関わる要因、今後のまちづくり方策等を整理する	最終年度	
《第三段階》フォローアップ	事後評価時に「見込みの値」としたものに対して、事業終了後に、確定した数値で再度整理する	原則、交付終了の翌年度	

2. 計画変更またはフォローアップなどの際、数値及び文章の修正が必要となった場合は、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入してください。その際、当初計画または事後評価の際に記載した内容(元からの記載内容)は削除せず、消し線を用いて対応してください。

例1)数値等の軽微な修正

【修正前】 ○○整備事業 面積 2,300㎡

【修正後】 2,800㎡

例2)文章の修正

【修正前】 ……するものとし、特に、●●館のイベント等に関する情報を発信していくものとする。

【修正後】 特に、●●館のイベント等に関する最新情報をリアルタイムでHP上から提供していくものとする。

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	来街者数	人/日	15,822	16,000	11,829	確定 ●	△	あり	なし	○				奄美豪雨や長引く景気低迷等により、事業開始以降、減少傾向に歯止めがかからず、目標未達成となった。1年後においても、指標達成は困難であると判断した。
指標2	空き店舗率	%	12.1	8.0	12.5	確定 ●	△	あり	なし	○				外的要因(奄美豪雨、長引く景気低迷等)により、新たな空店舗の発生に歯止めがかからず、目標未達成となった。1年後においても、指標達成は困難であると判断した。
指標3	まちづくりの活動の参加数(延べ人数)	人/年	90	450	534	確定 ●	○	あり	なし	○	567.0	H24年4月	○	各種まちづくり活動への市民の積極的な参画を支援したことにより、市民のまちづくりに対する機運が向上し、目標達成に至ったと判断した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	イベント参加者数	回/年	76	/	986	確定 ●	/	/	/	/	990	H24年4月	/	中心市街地の賑わい再生を図るため、様々な主体が積極的な取組み(イベント)を展開したことにより、イベント参加者数の増加につながったと判断した。
その他の数値指標2	空き店舗活用数	事業者	0	/	20	確定 ●	/	/	/	/	20	H24年4月	/	中心市街地の賑わい再生を図るため、様々な主体が積極的な取組み(空き店舗活用)を展開したことにより、空き店舗活用数の増加につながったと判断した。
その他の数値指標3						確定 ●								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	集客性の維持・向上に向けた市民主体の活動の展開	都市再生整備計画(第2期)を策定し、引き続き中心市街地における各種イベント活動を継続支援し、より一層の市民参加と本市の活性化を目指すことを予定している。 -	都市再生整備計画(第2期)の着実な実施に努める。 ※想定される事業…イベントの開催支援(まちづくり活動推進事業)
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	商店街における魅力ある景観づくりの推進	都市再生整備計画(第2期)を策定し、魅力ある中心市街地の形成を図るため、個々の商店の魅力向上や、地域特性を踏まえた景観整備を促進する予定としている。また、魅力ある街なみ空間の維持・形成に向けたまちづくり活動(勉強会、説明会等)を展開し、市民、行政が一体となっておもてなし空間の形成を図る予定としている。 -	都市再生整備計画(第2期)の着実な実施に努める。 ※想定される事業…商店街通りの修景整備(高質空間形成施設、商店街環境整備事業)
	さらなる回遊性の向上	都市再生整備計画(第2期)を策定し、歩行者の回遊性を高めるネットワーク整備の一環として、交流・滞留空間の整備や案内板、サイン等の設置を行う予定としている。 -	都市再生整備計画(第2期)の着実な実施に努める。 ※想定される事業…交流・滞留空間の整備(まちかどひろば)、案内板・サイン等の設置(地域生活基盤施設)
	空き店舗対策の推進	都市再生整備計画(第2期)を策定し、熱意と独創性にあふれる事業者の創出・育成ならびに中心市街地や商店街の活性化を図るため、商店街の空き店舗で新たにお店を開こうとする人を対象に「チャレンジショップ支援事業」を実施する予定である。 -	都市再生整備計画(第2期)の着実な実施に努める。 ※想定される事業…空き店舗を活用した新規出店の誘導・促進(空き店舗活用事業、チャレンジショップ)
	街なか居住の推進	都市再生整備計画(第2期)を策定し、空き店舗活用により、商店街に不足する公益性施設を創出し、街なか居住を推進する予定としている。 -	都市再生整備計画(第2期)の着実な実施に努める。 ※想定される事業…商店街に不足する公益性施設の整備(空き店舗対策事業によるイベントホール整備等)
	都市基盤・商業施設の再編	都市再生整備計画(第2期)を策定し、中心市街地において、にぎわいに満ちた交流空間の形成に向けて、1期目から引き続き、土地区画整理事業を推進し、都市基盤・商業施設の再編を目指す。 -	都市再生整備計画(第2期)の着実な実施に努める。 ※想定される事業…末広・港土地区画整理事業の推進
	利用者ニーズに対応した公園内の設備更新	都市再生整備計画(第2期)を策定し、歩行者の回遊性を高めるネットワーク整備の一環として、既設の街区公園においては、利用者ニーズに応じて、休憩施設の設置等、公園内の設備の更新・充実を図る予定である。 -	都市再生整備計画(第2期)の着実な実施に努める。 ※想定される事業…街区公園の改修
	「AiAiひろば」の管理運営	都市再生整備計画(第2期)を策定し、第1期で整備したAiAiひろばを拠点に、市民主体によるイベント開催を支援し、更なる効果増大を図る予定である。 -	都市再生整備計画(第2期)の着実な実施に努める。 ※想定される事業…AiAiひろばにおけるイベントの開催等

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし			